

クロマグロ養殖システムの開発

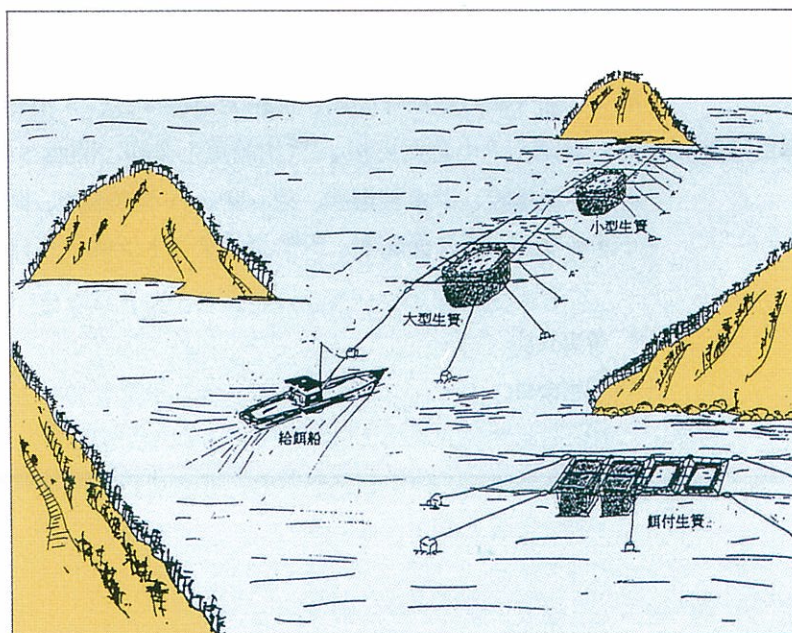
研究会 養殖システム開発

種 目 マグロ類養殖システムの開発

高度回遊性魚類のマグロ類に関する既往の生態・生息環境等の知見を基礎にして、適正規模の耐波性生簀と各種支援技術の開発を行い、経済性を考慮したマグロ類の安定的生産が得られる養殖技術の開発を目的とし、鹿児島県笠沙町において平成4年度から4カ年計画で研究を行っている。



クロマグロの飼育状況（小型生簀平成5年11月）



施設設置状況

事業概要

- 場 所……………鹿児島県川辺郡笠沙町片浦湾
- 事業実施期間……………平成4年度：海象・海底状況調査、設計条件検討
 餌付生簀および小型生簀設計・製作・設置
 養殖飼育試験（ヨコワ202尾）
 平成5年度：大型生簀設計・製作、給餌船設計・製作
 養殖飼育試験（2年魚およびヨコワ845尾）

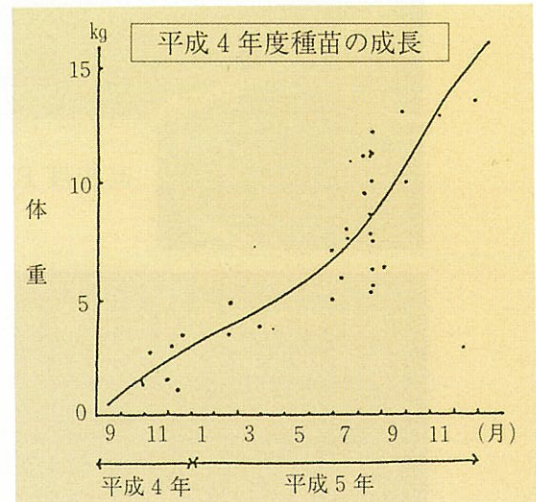
● 施設の仕様

| 項目 | 餌付生簀 | 小型生簀 |
|---------|---------------------------|------------------------|
| 寸法 | 幅10m×長さ10m×深さ8m | 幅20m×長さ26m×14m |
| 設置数 | 4基 | 2基 |
| 網地 | ポリエチレン無結節網 50本（50mm目合） | ポリエステル 120本（75mm目合） |
| 枠体 | 鋼管枠 スチレンフロート使用 | 浮子方式 |
| 吹かれ防止対策 | | 三角網使用 |

- 主な成果……………平成5年9月に超大型台風13号の直撃を受けたが、施設の異常は認められず、耐久性は実証されている。

養殖飼育試験を平成4年10月より実施しているが、ほぼ順調に成長し平成5年12月末で約15kgに成長している。支援技術の開発の1つとして、餌付生簀で1年間飼育した養殖魚を小型生簀に移し替えを実施し、移動技術に関する見通しを得る事ができた。

なお、養殖魚の肉質や環境条件についても、目下データ蓄積中である。



- 種目参加会員……………柏谷製網(株)、(株)菊谷茂吉商店、(株)拓洋、※東レ(株)、(株)テザック、東京製網(株)
 ◎日東製網(株)、日本水産(株)、◎日本配合飼料(株)、函館製網船具(株)、
 ヤンマーディーゼル(株)

(※幹事会社、◎リーダー会社)

- 協力機関……………鹿児島県水産試験場、笠沙町漁業協同組合